

明昭 感染対策委員会 夏号

だより 夏号

H30年8月

「感染症について」

インフルエンザ

よく耳にする？感染症について

苑田第一病院 感染制御実践看護師 金谷師長に
感染症についての勉強会をして頂きました。

MRSA

ノロウイルス

感染症とは・・・

病原体が体内に侵入・増殖し、
症状が出現する事。



予防には感染の連鎖を断ち切る事が重要！

ESBL

標準予防措置策 (スタンダード・プリコーション)

「すべての 血液、体液、分泌物、嘔吐物、排泄物、
創傷皮膚、粘膜などは、感染する可能性があるもの
として取り扱わなければならない」

内容として・・・手洗い・手指消毒、手袋・マスク・エプロンの着用
ケアに使用した器具の洗浄・消毒、環境対策などがあります。

緑膿菌

CDI

疥癬

感染症はどこからくるのでしょうか？

多くの場合、感染源となる微生物は、「体外」から侵入してきます。
つまり、感染を予防するには感染経路を知り、
「体内に微生物が侵入するのを防ぐ！」ことが重要です。

①空気感染
…空气中に漂う微生物を吸い込むことで感染。

②飛沫感染
…微生物を含むしぶきを浴びることで感染。

③接触感染
…微生物がついているモノ、人に触れた手で
粘膜などに触れることで感染。

これらを防いでいくには、
♡手洗いとマスクが重要となります♡



感染対策って何だろう？

そもそも何故、感染対策が必要なのでしょう…？

感染症は、感染の原因となる微生物（＝感染源）が無い限り起こりません。
微生物は人や動物の体内、飲食物の中など、
様々なところに存在していますが健康な状態であれば、
体の防御機能が正常にはたっているため、何らかの
微生物に感染しても特別な症状が現れない
(感染症にならない)まま、すむことが多いです。

しかし、高齢であったり、何らかの疾患を持っており
体の防御機能が低下している方は、健康な人では問題に
ならない程度の微生物であっても感染症が
起こりやすい状態にあるといえます。

その為知識を持ち寄り、全スタッフが感染対策を協議していきます。



豆知識

看護師の象徴といえばNsキャップをイメージしませんか？
しかし、病院や各施設でも最近めっきり見かけないですね。
理由の一つがこれも感染対策と関係しており、
毎日つけるNsキャップは無意識のうちに指で触れて
しまうので不衛生になりやすい為と言われています。



